

ケネル白老フレンドシップクラブ フレンドシップツアー参加者募集

町姉妹都市協会の構成組織です。今回、6泊8日の日程で国際感覚豊かでグローバルな人材育成を目的に、カナダ・ケネル市民との交流事業を企画しました。

対象 町内在住の中高校生（10人）、町にゆかりがある成人帯同者（若干名）

期間 令和6年3月26日(火)～4月2日(火) **費用** 25万円程度（一部補助を予定）

旅程 ケネル市では市民宅へのホームステイ（3、4泊）をしながら市内見学など。

申し込み 下記へ。 **締め切り** 11月17日(金)

※正式申し込み後、来春に向けたパスポートの取得や英会話教室などを行っていきます。

詳細 同クラブ 坂本、新岡、小倉 ☎84-5146

まちづくり 協力に感謝

「飛生」の文化芸術活動に寄付 ▶

苫小牧地方法人白老地区会（清水尚照会長＝写真左）が、旧飛生小学校を活用した共同アトリエ・飛生アートコミュニティに25万円を寄付しました。清水会長が「若い方々を地域にどんどん取り入れて、長く続けてほしい」と手渡しました。今回で3回目の寄付。同アトリエ代表の国松希根太さん＝写真右＝は、「地域資源を生かした制作や森づくり、芸術祭などを通じた地域貢献につなげたい」と感謝していました。（9月9日）
※同法人会は8月26日には「白老ふれあい食堂実行委員会」に5万円の寄付も行っております。



◀ 役場駐車場の白線補修で感謝状

道路工業株式会社（札幌）は、来庁者などが利用する役場庁舎駐車場の区画線補修を無償で行いました。地域貢献活動の一環。大塩英男町長から感謝状を贈られた同社豊浦・苫小牧工事事務所の門脇祐史工事は「役場などは後回しになっている自治体も多いので、皆さんに喜ばれてうれしい」と話していました。（9月20日）

旧白老小敷地の樹木伐採で感謝状 ▶

土木・建築工事を中心に業務展開をしている株式会社遠藤組（苫小牧、遠藤正弘代表取締役）は、本年9月に旧白老小学校敷地内の樹木伐採を無償で行いました。枯葉や枝のはみ出しなど周辺住民からの要望がありました。大塩英男町長から感謝状を贈られた遠藤代表取締役は「何かあればまた来年も地域貢献の力になりたい」と話していました。（9月20日）



◀ おいしい新米を寄贈

とまこまい広域農業協同組合から、新米50kgの寄贈を受けました。お米は同農協の高品質ブランド米「たんとうまい」。7、8月の少雨、高温に悩まされながらも、粒の大きさを選びすぎり栄養にもこだわった「例年並みの品質を確保できました」と、炊き上がりが粘りのある柔らかなお米となっています。堀弘幸代表理事専務ら3人が役場を訪れ、「地元の皆さんに食べていただきたいです。これからも応援よろしくお願ひします」と手渡しました。新米は例年、町内の認定こども園などで米飯として提供されますが幅広い活用を検討しています。（10月6日）

企業版ふるさと納税で感謝状

株式会社スプレスが50万円寄付

ふるさと納税のコンサル業務を担う株式会社スプレス（札幌市、加納綾代表取締役社長）から50万円の寄付を受けました。加納社長は本町から業務委託を受けていることから、「地域の盛り上げに役立てば」と話していました。町が企業版ふるさと納税として受領したのは9件目です。（9月20日）

